

早良南部地域における交流人口の拡大による地域活性化事業について

早良南部地域活性化事業実行委員会

1. 共働のきっかけ・役割分担

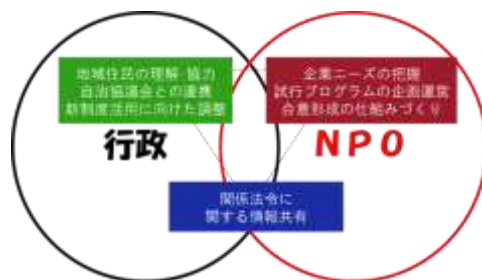
早良南部3校区（脇山・内野・曲渕）は、脊振山系に囲まれた自然や清流を活かした豊かな農地が広がり、また、特徴的な歴史・文化を有する地域である。そして、それらを活かした多彩なイベントや特産品が魅力となっており、都市部へのアクセスも良好な場所となっている。これまで、早良区と各校区によって構成されるまちづくり組織「早良みなみ塾」の取組により、地域資源を活かすための活動が推進されてきた。一方で、少子高齢化や人口減少が進み、今後の「交流人口の増加」、「自然・農村の魅力の活用」、「地域・事業者との共働の体制・仕組みづくり」が重要な課題となっている。



さわらの秋

そこで本事業では、持続可能な早良南部地域の新しいまちづくりにむけた共働の体制づくりや持続性・実効性の高い事業構築を目標とし、魅力ある地域資源や既存ストックの活用策を、地域内外の様々な市民や団体・事業者等と共に検討することとした。活用策の検討は、市や地域の取組と連動し、市街化調整区域の規制緩和に関する新制度の運用を見据えながら、進めていくこととする。

また、市街化調整区域の規制緩和策を活用した、地域と事業者との連携による新しい取組の試行に向けては、プログラムの企画や実施、体制づくりに関わる主体間の調整をはじめ、周知・啓発や行政手続きなど、幅広い対応が必要となる。そこで、共働事業として主にNPOとしては、地域・事業者連携によるイベント実施や合意形成に関わるノウハウを、市としては地域等への周知や庁内調整等のノウハウを共働し、試行しながら成果をとりまとめることで、福岡市の新制度としてより効果的に地域内外への意識付けを行うことができる。



<NPO が果たそうとする役割>

- ・地域及び都市側（各種団体や企業等）のニーズを踏まえた、地域の魅力資源や既存ストックの活用拡大に向けた新しいまちづくりの取組の継続的な検討
- ・校区外事業者や住民とのマッチングによる試行プログラムの継続実施
- ・市街化調整区域の新制度を活用した、校区外事業者等の受け入れのための地域の合意形成の仕組みづくりや体制づくり

<福岡市が果たそうとする役割>

- ・地域（校区住民、自治協議会、公民館、町内会）との連絡・調整
- ・試行プログラムの実施や新制度活用に向けた庁内調整及び行政手続き
- ・市街化調整区域の開発規制緩和策等の新制度に関する周知啓発

2. 事業の目的・目標

事業初年度である平成 30 年度は、地域ワークショップ・意見交換及びその結果を踏まえた事業者ヒアリング等により、新たな交流促進を実現するためのプログラムとしての「地域づくりプラン」について取りまとめを行い、市街化調整区域の土地利用規制やその規制緩和を踏まえつつ、地域の様々な資源を活用し、地域の住民や校区内事業者、都市部の事業者が連携し、地域活性化を目指すことの可能性について共有した。



地域ワークショップ

2 年目となる令和元年度においては、とりまとめた「地域づくりプラン」の試行・検証を行った。その試行するプログラム（以下、試行プログラム）の実施に向けては、平成 30 年度にワークショップやヒアリングで協議した地域住民・団体や事業者を中心に継続的な対話を行いながら、企画内容や関係者の役割分担を設定した。また、その企画内容や役割分担は、将来的に事業主体となる組織や体制の構築、及び持続的な事業化への展開を見据えたものとして検討した。さらに、試行プログラムの成果については、都市と農村の交流の事例集として取りまとめ、新たな活用を推進するための周知・広報ツールとして作成した。



事業者ヒアリング

令和 2 年度としては、検討・試行された、地域住民や新しい団体・企業等が連携する取組を、地域が主体となって実施できるための体制づくりを目標として継続的な取組と、検討・協議を行った。将来的には、新規事業を始め、市街化調整区域の規制緩和を活用した移住・定住等に対する地域内外のニーズをマッチングさせる中間支援組織としての体制等を目指していく。

■令和 2 年度の事業目標

○都市部事業者や市民・地域との持続的な事業の構築

本事業において実施、検討した試行プログラムについて、継続的な取組が進むよう、プログラムにおいて、課題の整理や今後の方針の整理を行う。

○継続的な地域や事業者との対話を通じた協議会の体制検討

地域や事業者との連携が継続していくための話し合いの場の設立に向けた検討や意見交換を行い、実現のための必要な取組を整理する。

○都市部への周知・啓発の取組の継続及び拡大

今後の交流人口拡大に向けた周知・啓発ツールを作成し、本事業等に係る広報活動により継続的な都市部への PR を検討、取組むものとする。

成果指標としては、当初年度設定した①ワークショップへの参加者数、②アンケートを実施した事業者数、③ヒアリングを実施した事業者数、④試行プログラムの実施数に加えて、昨年度から⑤地域イベントや事業者と連携し、取組を周知した回数、⑥新たに連携した事業者数を追加している。

令和2年度当初としても、本目標値を目指した取組を進めるものの、新型コロナウイルス感染防止の観点から、企画内容や進め方の変更等を必要に応じて行っていくことで事業を進めることとした。

<成果指標>

成果指標	目標値		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①ワークショップへの参加者数	120	120	120
②アンケートを実施した事業者数	30	40	50
③ヒアリングを実施した事業者数	5	10	15
④試行プログラムの実施数 ※	0	2	6
⑤地域イベントや事業者と連携し、取組を周知した回数	-	3	5
⑥新たに連携した事業者数	-	4	8

※平成30年度事業で把握した地域ニーズを踏まえ、空き家や遊休地といった既存ストックの活用のみならず、交流人口の拡大の視点で広く実施することとした

3. 事業内容

事業内容① 試行プログラムの運用による取組・体制づくり

平成 30 年度、令和元年度の成果を踏まえ、地域住民・団体・事業者が連携する取組を試行する。ここでは、昨年度の成果を踏まえて設定したテーマとして、農・食、アウトドア・自然などをいかした取組を進めていくものとした。

■アウトドア・健康をテーマとしたプログラムの実施状況

試行プログラム1「アウトドアメーカー・公益財団法人と連携したソロキャンプイベント」

地域の連携主体：脇山野営場の所有者（公益財団法人）、脇山校区の若手農家の団体

実施事業者：全国に店舗展開するアウトドアメーカー



事前協議の概要

協議日程

令和2年7月2日	事業者1名、公益財団法人2名、実行委員会5名
令和2年9月16日	事業者1名、公益財団法人2名、実行委員会4名
令和2年10月21日	事業者1名、公益財団法人2名、実行委員会4名

団体	事業者の意見	公益財団法人の意見
事業に対する意向	コロナ流行により、主催のイベントは直営のキャンプ場に限定して行っている。NPO 事業に対する連携での形が望ましい。	団体で行うイベントでは、密を避けるため、1 テントに1人で泊まるようにしている。
	キャンプ用品の売れ行きが良く、ニーズは高まっている。実施の場合は、対象者、広報、食事提供方法などで工夫する必要がある。	現在も一般利用は可能であるが、周知されていない。利用してもらうのはありがたく、法人の活動とのつながりが持てる。
	ソロキャンプが流行しているが、急に一人では難しいと感じる人も多いので、そのあと押しになればと思う。	個々のプログラムについての感想に加え、脇山野営場の活用について、意見を聞きたい。
	定量的なアンケートよりは、人数も少なく、ある程度のやる気をもった方が来るので、体験の感想や脇山の価値などの意見を募集したい。	
事業の進め方	- 本部用の道具を持参する。参加者に使用してもらってよい。 - 道具の貸し出しなどは難しい。	自然のものを使って道具をつくるプログラム等がある。作ったものは持って帰るかイベント内で使えるとよい。
	新型コロナウイルス感染防止の対策を徹底して実施する。	管理棟施設内のトイレ・シャワーは使用可能。宿泊は難しい。テント等の貸し出しも表立っては行わない。

実施内容

実施日：令和2年11月7日(土)～8日(日)

実施場所：脇山野営場(早良区大字脇山 1780-2)

参加人数：9人

参加費：¥2500(施設使用料、食材、保険代等)

企画内容

①公益財団法人監修によるアウトドアスキルのレクチャー

- ・「立ちかまど」の組み立て
- ・テントやタープの設置にも使えるロープワークのレクチャー

②事業者によるソロキャンプのレクチャー

- ・モデルテントによるキャンプスタイルの紹介
- ・各参加者のテントサイトについての意見交換

③食事・交流

- ・脇山産新米の提供
- ・焚火を囲んでの参加者・スタッフの交流

④脇山野営場活用についてのワークショップ(P30参照)

- ・座談会形式でのワークショップ
(体験の感想、野営場の感想、今後の活用アイデア等)

告知方法：早良区広報誌「さわらの秋P11「心を癒すさわらの自然満喫体験」への掲載

11/7 土
11/8 日

ソロキャンプを楽しもう in 脇山野営場

スノーピークのスタッフや日本ボーイスカウト福岡県連盟の方と一緒に、みんなでソロキャンプについて、その魅力を語らいながら楽しめます。当日はキャンプ道具の使い方などのワークショップも予定しています。(ワークショップのプログラムは新型コロナウイルス感染拡大防止の点から変更中止することがあります。)

■会場：日本ボーイスカウト福岡県連盟脇山野営場(脇山 1780-2)
■時間：14時開会～翌日10時閉会(11月7日(土)～8日(日))
■募集人数：最大15人(ソロキャンプのみの募集となります。)
■参加費：2,500円(サイト代、運営費、保険など)
■申込方法：以下の項目をメールで送るか、お電話で直接お申込ください。
※申込期間：10月16日(金)まで先着順となります。
定員になり次第締め切りとさせていただきます。
【メール】sawarananbu@step-i.co.jp
【電話】092-271-3673(環境文化プロジェクト機構)

●氏名(漢字・フリガナ) ●住所 ●電話番号 ●性別 ●生年月日
●緊急連絡先番号 ●キャンプ歴(○年及び年平均○回程度でお答えください。)

※上記のイベントは、福岡市早良区と(特送)環境文化プロジェクト機構による福岡市共働事業推進制度「早良南部地域における交流人口の拡大による地域活性化事業」を通じて実施しています。



※キャンプ道具および食材はすべて参加者にご準備いただく必要があります。
※会場で提供できるものはキャンプサイト、水汲み場、トイレ、シャワーとなります。(駐車場はありますが、キャンプサイトには駐車できません。)
※薪は現地で購入いただけます。

運営手法（役割分担）

	内容	担当主体	内容
事前準備	①企画調整	実行委員会	・役割分担の調整 ・企画内容の調整 ・費用等の調整
	②イベント告知	事業者	・店頭でのイベント案内
	③受付・案内	実行委員会	・早良区広報誌「さわらの秋」で告知 ・実行委員会が電話・メールで受付
	④実施日までの連絡	実行委員会	・天候等による延期や実施場所の連絡通知、持参品等を電話・メールで行う
	⑤準備物の購入・用意	実行委員会	・衛生用品、筆記用具、掲示物等の準備
		事業者	・自社のキャンプ用品、記念品準備等
		公益財団法人	・アウトドア講習会に使用する資機材の準備、会場準備等
		協山の若手農家	・新米や農作物の販売
当日運営	⑥参加者受付	実行委員会	・当日参加者の受付・検温
	⑦イベント主旨の説明	実行委員会	・共働事業の説明
	⑧企画内容の説明	実行委員会	・体験内容の説明
	⑨公益財団法人監修によるアウトドアスキルのレクチャー	公益財団法人	・P 7 参照
	⑩事業者のソロキャンプのレクチャー	事業者	・P 7 参照
	⑪食事・交流	協山の若手農家	・P 7 参照
	⑫ワークショップ・アンケート	実行委員会	・P 7 参照



受付



開会式（趣旨説明・自己紹介等）



公益財団法人監修ワークショップ



事業者のソロキャンプのレクチャー



たき火をしながら語る時間



キャンプ会場の様子

アンケート結果基本情報 ソロキャンプイベント

【調査日】 令和2年11月7～8日（土～日）ソロキャンプを楽しもう in 脇山野営場

【対象者】 イベント参加者

【調査方法】 イベントの最後、アンケート用紙に記入

【回答総数】 9人

アンケートから確認できた内容

- 20代～60代の幅広い世代を地域に呼び込むことができた。
- ほとんどの参加者がキャンプ経験が少なく、事業者Bの要望であった、ソロキャンプをはじめのきっかけづくりにつなげることができた。
- 7名が「とても満足」、2名が「満足」と回答し、脇山野営場が初めてのキャンプに適していたことや、次回のキャンプに向けた経験になったとの声があった。
- 単なるキャンプ場でなく、法人の活動拠点であることなどの歴史や背景が、体験を深めたことが分かった。
- 脇山地区にはじめて訪れた人が半分以上であり、新しいファン獲得に向けた可能性を確認することができた。

アンケート結果詳細

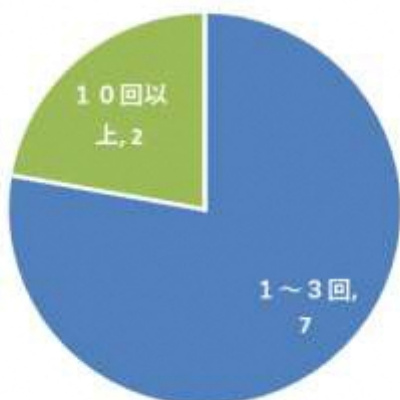
1.年齢



2.職業



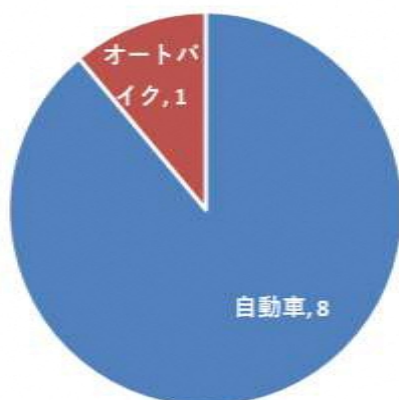
3.年間のキャンプ回数



4.よく行くキャンプ場



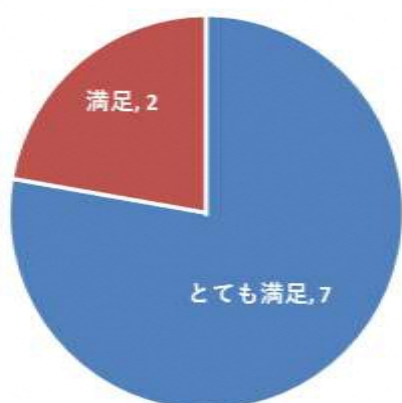
5.会場までの交通手段



6.脇山地区の訪問経験



7.イベント全体の満足度



9.参加費の適正



8.今回のイベントに参加した理由

- 都会の近くでキャンプが出来る為
- 知り合いからでキャンプライベントがあると聞いて、キャンプをしたかったから参加しました。
- キャンプをしたことがない為。自分のスキルを上げる為。
- ボーイスカウトの聖地でキャンプ出来てよかった。
- スノーピークさんのご紹介だったので。
- 初キャンプをしてみたいと感じていたから
- ソロキャンプ体験
- 今後ソロキャンプを始めるにあたっての勉強

試行プログラム2「登山ショップと連携した脊振登山プログラム」

実施事業者：様々な登山イベントを実施する福岡市の登山用品店

事前協議の概要

協議日程

令和2年7月6日	事業者1名、実行委員会4名
令和2年10月19日	事業者1名、実行委員会3名

団体	事業者Bの意見	実行委員会との連携
事業の進め方	・脊振山系は福岡市内でも有数の魅力的な登山スポットで、登山イベントを今後も行っていきたい。	・自然や健康をテーマとする今年度の広報誌での掲載に向けて、企画を調整していきたい。
	・基本は公共交通で行ける場所を選ぶが、便の悪さは課題であるので、昨年度同様にイベントスケジュールの工夫等が必要である。	・バス停での事前受付やタクシー配送など、集合場所の調整等を実行委員会で実施する。
	・参加者の保険は実行委員会にお願いしたい。	・保険は実行委員会で対応。
	・9月から主催イベントを再開する見通しなので、十分コロナに配慮して実施したい。	・大人数は集めず、各回15名程度とする。
	・登山中は熱中症の懸念もあるのでディスタンスを保ってマスクは外すことも検討する。	

実施内容

実施日：令和2年10月25日（日）、11月1日（日）

実施場所：脇山・曲淵周辺

参加人数：計27人（2日間）

参加費：¥500（保険代等）

企画内容

○事業者Dによる初心者向けの登山教室

- ・矢筈谷～脊振山～椎原峠コース（10月25日）
- ・花乱の滝～金山山頂～坊主ヶ滝へコース（11月1日）

さわらの秋（参考資料③：さわらの秋P11「心を癒すさわらの自然満喫体験」）への掲載記事

①

10/25日

矢筈谷（やはずだに）～脊振山～椎原峠コース（約6時間のコース）

②

11/1日

花乱の滝～滝川谷～金山～坊主ヶ滝ルート（約5時間のコース）

あなたも山歩きで健康と感動を味わいませんか？

ネイチャースクール

紅葉が色づき始めた脊振山系をインストラクターが案内します。金山や脊振山の秋色の稜線に広がるブナ林など、美しい眺望が広がる行程で、自然の中で健康と感動を体験できます。

■集合：早良営業所バス停前（登山口までタクシー分乗で移動）

■集合時間：7時45分

■募集人数：各回15人程度

■参加費：500円（傷害保険料など）

■申込方法：ラリーグラス大名店（中央区大名2-2-46）へ来店にてお申込みください。

■お問合せ：ラリーグラス大名店 ☎092-712-8909

※上記のイベントは、福岡市早良区と（特選）環境文化プロジェクト機構による福岡市共働事業推進制度「早良南部地域における交流人口の拡大による地域活性化事業」を通じて実施しています。




運営手法（役割分担）

	内容	担当主体	内容
事前準備	①企画調整	実行委員会	・役割分担の調整 ・企画内容の調整 ・費用等の調整
	②イベント告知	事業者	・店頭でのイベント案内
	③受付・案内	実行委員会 事業者	・早良区広報誌「さわらの秋」で告知 ・事業者が店頭及び電話で受付
	④実施日までの連絡	事業者	・天候等による延期や実施場所の連絡通知、持参品等を電話で行う
当日運営	⑥参加者受付	実行委員会	・当日参加者の受付・検温
	⑧イベント主旨の説明	実行委員会	・共働事業の説明
	⑨企画内容の説明	事業者	・体験内容の説明
	⑩登山教室	事業者	・写真参照
	⑪振り返り・アンケート	実行委員会	・体験の満足度等に関するアンケート



企画・コース・諸注意等の説明



登山道沿いの植物に関するレクチャー



金山山頂での記念撮影



沢登りの様子

アンケート結果基本情報 登山プログラム

【調査日】 令和2年10月25日（日）、11月1日（日）

【対象者】 イベント参加者

【調査方法】 イベント終了時にアンケート用紙に記入

【回答総数】 27人

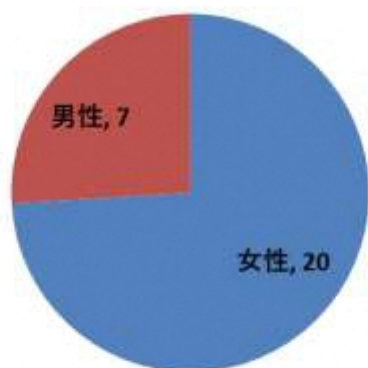
アンケートから確認できた内容

- 20代から70代以上まで様々な年代の参加があった。女性の参加が全体の4分の3と多かった。
- 参加の理由として、登山目的に次いで、参加者との交流や、登山コースや歴史や自然を知ることなどが挙げられ、地域への興味も高いことが分かった。
- 登山ショップのインストラクターによって、植生や歴史に関するレクチャーがあり、参加者に好評であった。春などの他の季節の植生の変化もレクチャーすることで、別の季節の再来訪をうながすきっかけづくりとなっていた。
- 約8割が福岡市内からの参加であり、近くで登山ができることや自然に親しむ場所があることを知り、佐賀との県境を意識するなどのきっかけとなった。

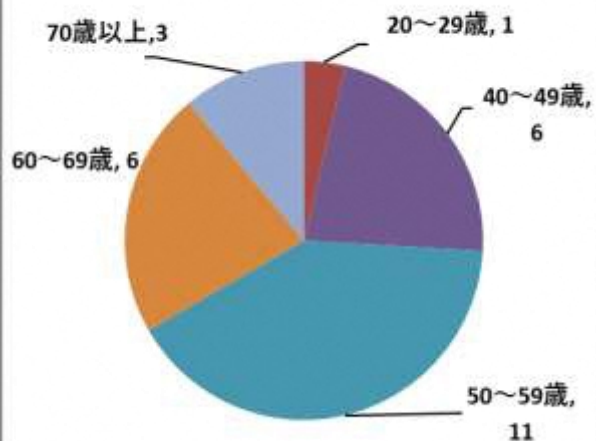
アンケート結果詳細

1. 参加者について

(1) 性別



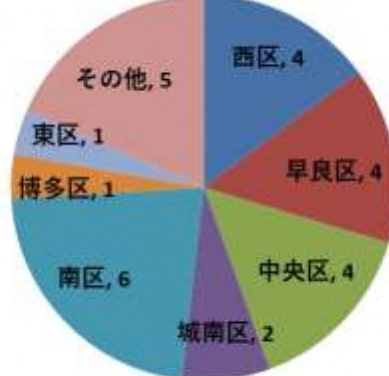
(2) 年齢



(3) 職業



(4) お住まい

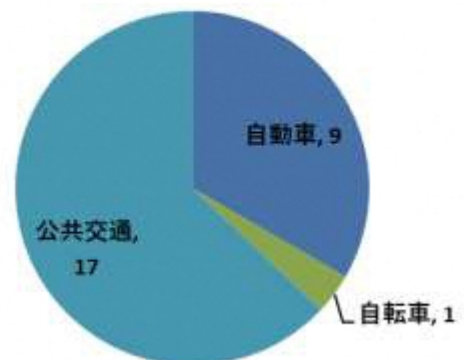


2. 登山・地域への訪問経験について

(1) 年間登山回数



(2) 交通手段



(3) 脇山・曲淵地区への訪問

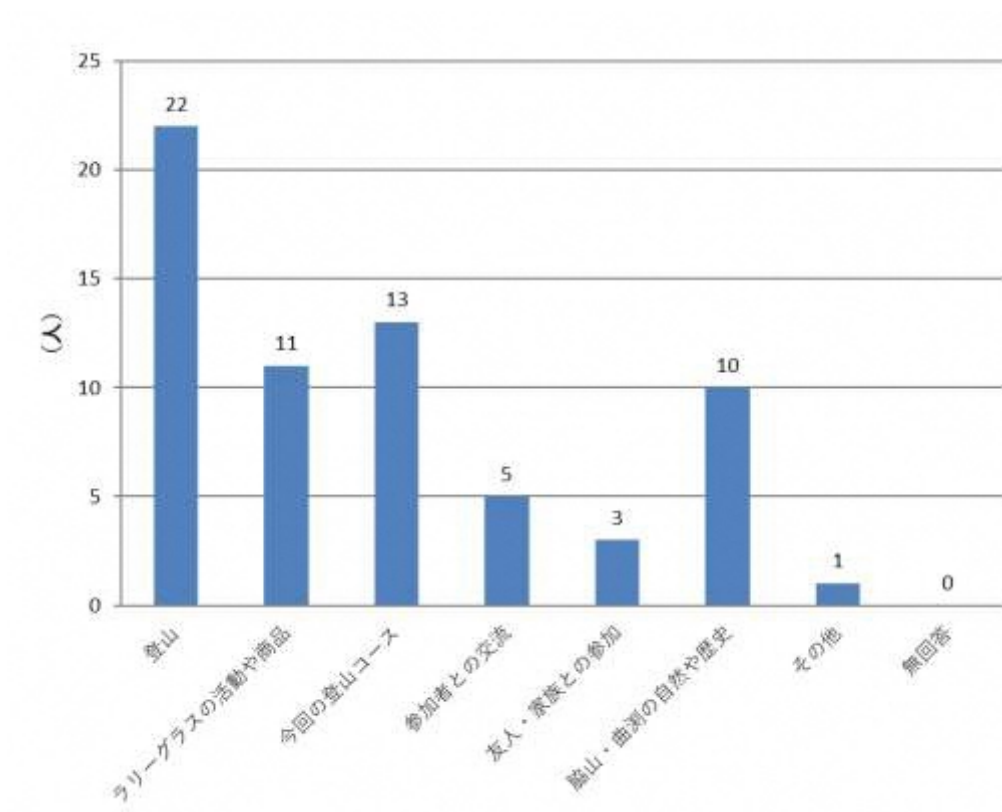


【訪れた場所】

ダム、紅葉のきれいなところ、脊振山、脇山、山、曲淵ダム、主基の里、そば屋、曲淵小学校の裏の川、徳栄寺、じょうもんさん、とうふ屋

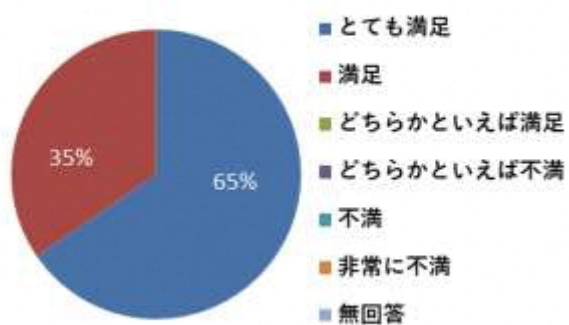
3. 今回のイベントに関して

(1) イベント参加の理由は？

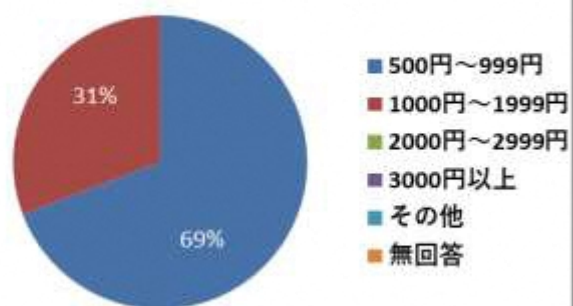


【その他】（事業者会長）との登山

(2) 満足度

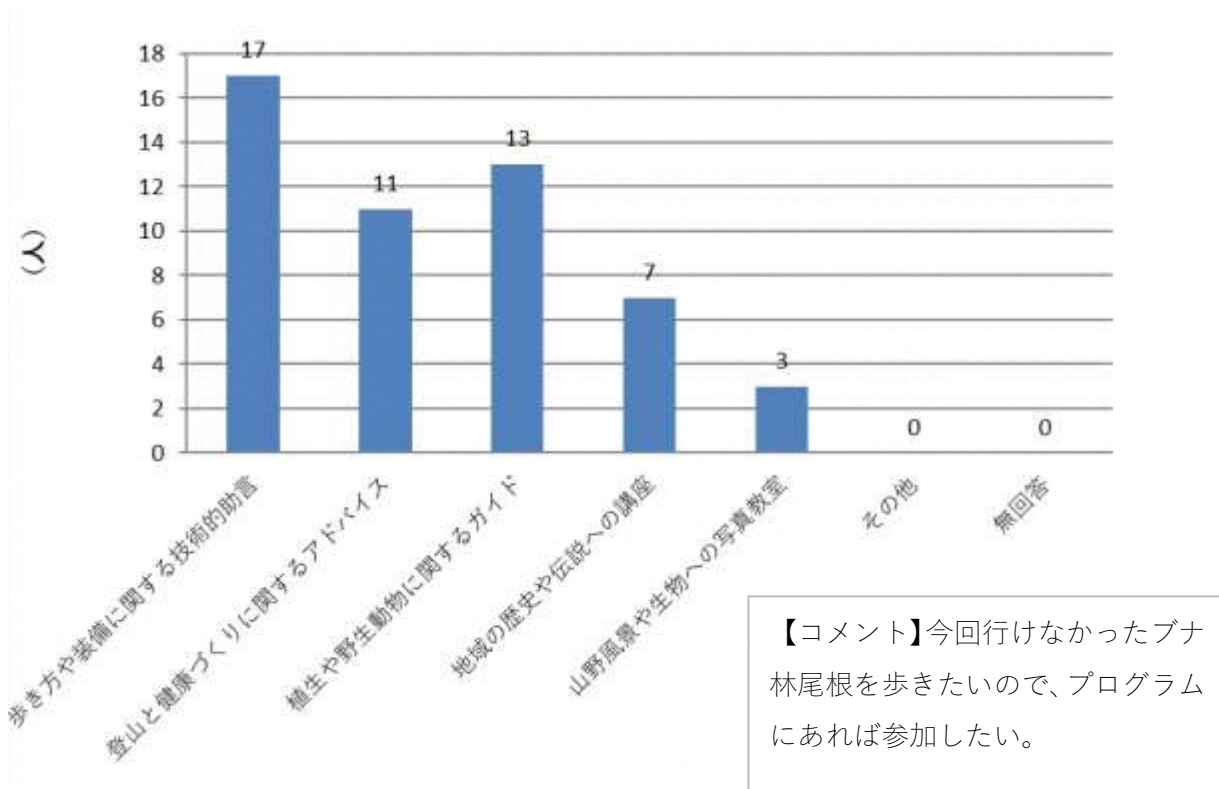


(3) 参加費目安

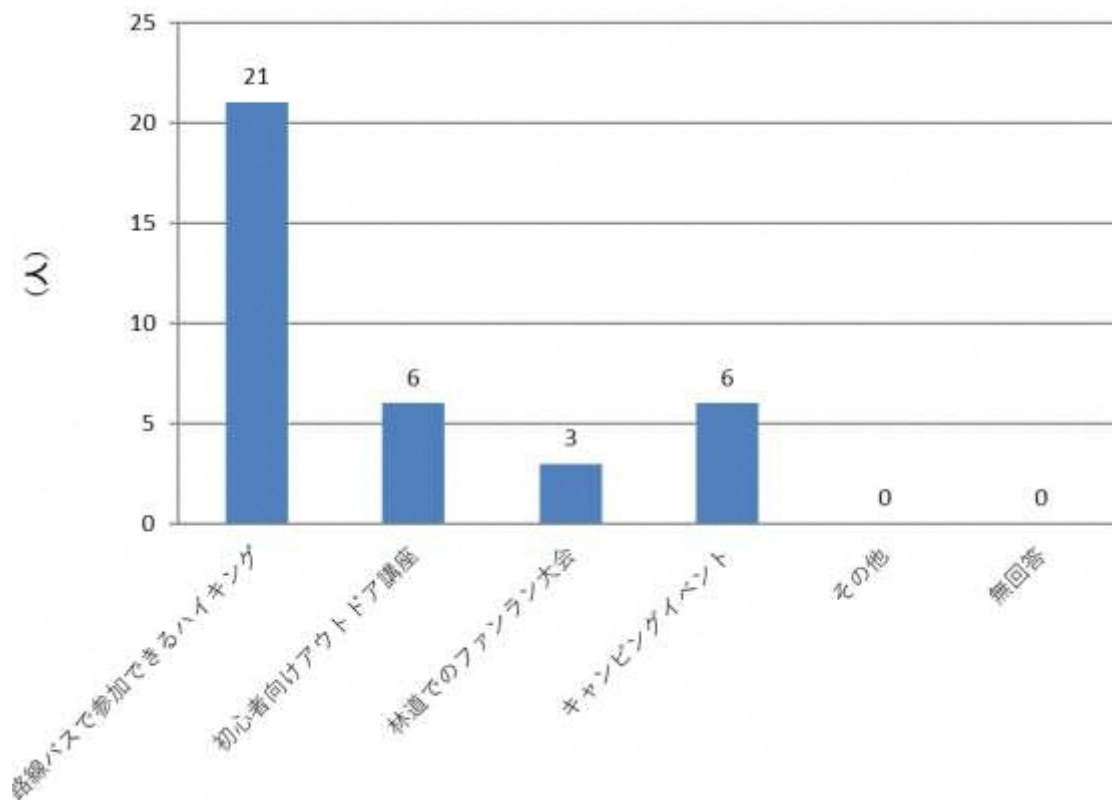


4. プログラムに関して

1) 次回どのようなプログラムに参加してみたいか？



2) 参加したい事業は？



5. 自由記述（抜粋）

- 緑豊かで静かな良い場所です。いろいろな季節にまた訪れてみたいです。お昼の休みがもう少しあると初心者にはありがたかったかもです。
- いつも大好きな山です。お天気も良く今日は特にきれいでした。明るい日ざしに緑がはえていました。
- 市内から近くて良かった。
- 実際に歩いてみて、見た目の印象が一変しました。
- 今回のイベントでは「地域」の魅力までは分からなかったなので、またあらためて訪れてみたいと思いました。
- 秋の景色を楽しみながら登山することができました。
- また来年の開催よろしくお願いします。
- 金山がこんなにふかふかの山道で、樹林帯が気持ちの良い山とは知りませんでした。参加して良かったです。
- 金山は大変よと聞いていましたが、その通りでした。皆様に支えられて登山出来た事、とても嬉しく思い感謝しています。皆様ありがとうございました。
- 脊振のほとんどが佐賀県とも知りませんでした。
- 変わった。自然の深さは福岡佐賀で一番か。福岡市内にはない自然が有り大切にしたい。
- 脊振山系が好きです。今回参加して金山の別ルートに行きたくなりました。
- こんなに近くて気軽に登山できる金山の登山ルートがとても良いことを今回知った。何度も足を運ぼうと思った。

試行プログラム3「自転車メーカーと連携したサイクリングコースづくり・サイクリングマップ制作」

実施事業者：全国に店舗展開する自転車メーカー

事前協議の概要

協議日程

令和2年7月2日	事業者1名、実行委員会5名
令和2年10月1日	事業者1名、実行委員会3名
令和2年11月30日	事業者1名、実行委員会2名
令和3年2月16日	事業者1名、実行委員会3名
令和3年3月19日	事業者1名、実行委員会3名

団体	事業者の意見	実行委員会との連携
事業に対する意向	・全国的に、主催のイベントは中止している。イベントとしては行わない方向である。	・サイクリングのコース設定やマップ作成を行っていきけると、今後の自転車利用のPRになる。
	・コース設定やサイクリングに必要な情報の提供、試走等での協力は可能。	・秋ごろに試走をし、今年度中にマップづくりをすすめていきたい。
	・自転車需要は世界的にも高まっている。	・観光というよりは市民向けに、サイクリングをはじめて、早良区の南部に行きたくするようなマップをつくる。
事業の進め方	・アプリ「Strava」にSNS上でタイムトライアルコースがあり、早良区の山間部の2コースを活用するとよい。	・山間部の難易度の高いコースと、平野部の気軽なコースに分ける。
	・監修の記述など、本社と調整を行いながらマップづくりを進めていく。	・掲載店はさわらの秋の協賛店からコースに応じて選ぶ。掲載料はとらない。

作成内容

仕様：A3サイズ4つ折り 両面カラー

発行部数：3000部（区）

マップの内容

- ・のんびり散策コース・登坂2ルートの地図
- ・自転車安全五則・自転車と自転車用品の紹介
- ・早良南部の店舗情報

運営手法（役割分担）

	内容	担当主体	内容
	①企画調整	実行委員会	・役割分担の調整 ・企画内容の調整
	②監修	事業者	・貸出用自転車の準備及び調整 ・コース設定や注意点等の情報提供 ・撮影協力
	③現地調査	実行委員会	・コースの調査、設定 ・写真撮影
	④掲載店調整	実行委員会	・掲載許可 ・掲載内容の確認
	⑤マップ作成	実行委員会	・掲載内容検討 ・デザイン

コース設定や試走、撮影の様子

<事業者との試走によるコース設定>



<マップ作成に向けたコースやイメージの撮影>



<作成したサイクリングマップ（P28～P31 に詳細の掲載）>

（表面）



（裏面）



事業内容② 事業者マッチングに向けた意向調査

実施状況

事業内容①を進める中で、事業者との協議を継続し、各事業者との意見交換の結果を以下に整理した。

事業者A

団体の概要：近隣の大型商業施設を管理運営する事業者



写真：事業者公式Instagramより

表：ヒアリング結果概要

事業の内容に関する印象	・昨年度は、商業施設内での体験（紅茶づくり体験）が実施でき、親子向けの新たな体験型サービスのコンテンツが増えて良かった。今後も継続を検討したい。 ・地域の農作物の収穫体験や農地での定期的な栽培体験など、現地での農体験を検討したい。 ・商業施設内の物販と協力しながら、施設全体での産直イベントを連携して実施できると良い。 ・一方で、コロナウイルス感染拡大防止の観点もあるため、今年度はイベントとしての開催は難しいが、今後も継続的に連携ができるとよい。
地域に対する印象や期待	・地域の特産品が収穫できたり、近くでおみやげに買って帰ることができる場所があると、参加者満足度が高くなる。 ・現地で体験できるプログラムと、商業施設内でも体験できるプログラムの両方が検討できていけると良い。
事業者のニーズ等	・このような取組は、社会貢献や顧客サービスの視点が求められるものの、今後事業性も高めていき継続する仕組みづくりなども検討できるとよい。
取組への参画可能性	・今年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの実施は難しいが、次年度以降も引き続き協議する機会が継続することを期待する。

事業者B

団体の概要：全国に店舗展開するアウトドアメーカー。店舗運営だけではなく、老朽化したキャンプ場の再生やリニューアル、管理運営を手掛けており、アウトドアに関連する様々なイベントも実施している



表：ヒアリング結果概要

事業の内容に関する印象	・昨年度は家族や入門者向けのアウトドア講習会を、店舗から近い早良南部地域で実施できてよかった。 ・協山校区の主基米をはじめとする農作物や田園風景といった資源は、アウトドアやキャンプとの相性が非常に良い。
地域に対する印象や期待	・昨年度は農家さんからの地元の農作物のPRなどもあり、魅力的なコンテンツだった。アウトドアやキャンプイベントを実施する際に、地域の資源を活かした体験型のコンテンツと連携することは魅力を高めるものとなり、特に農との相性がよいと感じている。 ・協山野営場は、店舗の顧客に向けた利用方法として、初心者向けアウトドア講習会の他にも、本格的なキャンプ経験者向けにも魅力的な場所だと思う。
事業者のニーズ等	・福岡市内には市民のニーズに応えられるほど、キャンプ場が整備されていない。今回の実施場所（協山野営場）が将来的にそのようなニーズに応えることができる可能性を、昨年度のイベントでも実感できた。
取組への参画可能性	・今回のテーマであるソロキャンプは、特に協山野営場の環境にあっていと感じる。 ・家族向けや入門者向けのイベントもよいが、最近の流行でもあるソロキャンプは企業としても注目しているテーマであり、コロナへの配慮もしやすいため、参加しやすいテーマだと感じている。
試行プログラム実施後の意見	・今年度はコロナウイルスの影響などもあるため、イベントの開催は工夫が必要な中で、ソロキャンプをテーマとして実施でき、改めて会場である協山野営場や周辺環境の良さを感じる事ができた。 ・今後も、福岡市民の新しいアウトドアの拠点となる可能性を感じており、さまざまなルールや仕組みも必要であるが、引き続き連携の可能性などを検討していきたい。

事業者C

団体の概要：全国に店舗展開する自転車メーカー。自転車及び部品・付属品の製造や販売のみならず、サイクリング文化の拡大を目指し、各店舗でサイクリングイベントを定期的に行っている



表：ヒアリング結果概要

事業の内容に関する印象	・昨年度の電動アシスト付き自転車による、気軽に自転車を楽しむイベントはとても好評でよかった。 ・今年度はコロナウイルス感染拡大の影響もあり、イベントの開催は難しいが、コロナだからこそできる取組も一緒に検討できるとよい。
地域に対する印象や期待	・早良南部地域は三瀬峠や板屋峠など、サイクリストに人気のエリアであり、また室見川河川敷などのんびりと走るルートもあることから、魅力的なコース設定ができる。 ・そのような、地域の魅力と自転車のコースとしての魅力を発信できるとよい。
事業者のニーズ等	・コロナの影響で改めて自転車が注目されている中で、福岡市が自転車で楽しむことが気軽にできることが発信され、新しい自転車の楽しみ方を伝えていきたい。 ・また今回は難しいが、引き続きマウンテンバイクや女性向けの自転車イベントなども連携できるとよい。
取組への参画可能性	・今年度はプロの視点から見た早良南部地域の魅力をめぐるサイクリングマップを作成し、店舗としても顧客にPRできるとよい。
試行プログラム実施後の意見	・店舗のスタッフと共働でルート設定および試走を行い検討した、今回のサイクリングコースは、早良区の魅力を自転車であぐるための良いツールとなると思う。 ・今回のマップを活かしたイベントなど含め、コロナが落ち着いたら改めて連携できるとよい。

事業者D

団体の概要：脊振山系も含む近隣での登山イベントを実施する登山・スキー用品の販売事業者



表：ヒアリング結果概要

事業の内容に関する印象	・脊振山系の登山の拠点として、早良南部地域は昔から訪れてきたが、現在若い世代の登山ニーズも高まってきているところから、改めて登山を通じた地域の魅力を伝えていけると良い。 ・昨年度も登山イベントはとても好評で、今年度もコロナに配慮した形で継続してイベントを実施できるとよい。
地域に対する印象や期待	・福岡県でも有数の自然や植生の豊かさをもつ脊振山系は、福岡近辺において最も魅力的なフィールドといえる。 ・四季毎の自然の様々な魅力があるため、登山の上級者でも楽しめる。 ・公共交通の不便さやトイレのある駐車場といった拠点が少なく、イベントでの積極的な活用が難しい。
事業者の課題等	・登山教室等に一年を通じて参加し、脊振や登山のことを深く知っていくプログラムを開催したい。
取組への参画可能性	・新たな事業者連携などにより交通面を改善するような取組が進めば、より積極的なイベント開催もできるため、引き続きそのような検討を一緒に進めていけるとよい。
試行プログラム実施後の意見	・脊振山系は市内でも最も魅力のある登山場所であり、継続的にイベントを行っていききたい。しかし、引く続き公共交通の便の悪さは課題になっているので、解消する方法を検討する必要がある。

事業者E

団体の概要：169か国の国と地域で野外活動を通じた青少年育成活動を行う公益財団法人



表：ヒアリング結果概要

事業の内容に関する印象	・昨年度はアウトドアの入門者向けの講習会を実施したが、アウトドアメーカー等の事業者とつながりを持ちたいと思っていたところで、良いきっかけとなった。 ・今年度もコロナへの配慮の中で連携を検討したい。
地域に対する印象や期待	・脇山野営場は当法人が所有する施設であるが、活動できていない期間は空いている状況にある。今回の事業でのイベントをきっかけとして活用の可能性を広げ、改めて地域にも同時に知れ渡ってほしい。
事業者のニーズ等	・脇山野営場を一般の人でも利用していけるように、ルールや仕組みを作っていきたい。 ・イベントや活用の取組を通して団体への参加者を増やせるようなPRができるとうい。
取組への参画可能性	・今後野営場としてはトイレの整備などの課題も見えてきており、引き続き団体としてもそのような対応の検討を行いながら、新しい活用の可能性を一緒に検討していけるとよい。
試行プログラム実施後の意見	・脇山野営場を、事業者がイベント等で使っていきながら、そこに団体としても連携が持てると良いことを再確認できた。 ・脇山野営場を一般市民の方に開放にするための検討として良いきっかけとなっている。この連携を継続していきたいと考えている。

事業者F

団体の概要：早良南部地域において農業に取り組む農業生産法人



表：ヒアリング結果概要

事業の内容に関する印象	・昨年度は地域の特産であるお茶を作ったワークショップやイベントにおける農作物のPRを行うことができ、今後も連携を継続できるとよい。
地域に対する印象や期待	・脇山の豊かな環境をいかした農作物の栽培や、新しい加工品づくりに取組んでおり、今後も地域の魅力を伝えていける農業に取り組んでいきたい。 ・現在若手農家が連携した新しい農体験などの企画も行っており、今後その実施やPRに連携できる取組ができるとよい。
事業者のニーズ等	・最近新しい事業者と連携したファーマーズマーケットへの出店などのPRの機会も増えてきており、今後もそのような脇山の農作物をPRできる連携の仕組みをつくっていききたい。
取組への参画可能性	・今後脇山や早良南部地域の交流を促進するための取組があれば、継続して共働の体制を作れるとよい。
試行プログラム実施後の意見	・今年度はアウトドアのイベントに農作物を提供する取組ができたが、今後引き続き異業種との交流ができる取組が継続してほしい。

事業者G

団体の概要：市内に複数の店舗を構える飲食店



表：ヒアリング結果概要

事業の内容に関する印象	・福岡市内の素晴らしい自然環境を活かした取組だと感じており、今後都心部の飲食店として新しい事業や既存の顧客サービスなどにつながる連携などができそうである。
地域に対する印象や期待	・農作物は加工することで様々な食品サービスに展開する可能性を秘めており、現在店舗として開発している食品廃棄部（コーヒーかす）を使ったたい肥があるため、このたい肥で育てたオリジナル野菜やその野菜からできた加工品など、連携できる農家さんがいるとおもしろい。
事業者のニーズ等	・現在店舗からでる食品廃棄物を使ったたい肥の商品開発を行っており、その効果の実証フィールドなどができるとよい。
取組への参画可能性	・マルシェなどにおける出店の連携や新しい農作物づくりなど、機会があれば共働できるとよい。

事業者H

団体の概要：福岡市各地で環境保全活動に取り組む NPO



表：ヒアリング結果概要

事業の内容に関する印象	・ 早良南部地域は多くの森林環境を有しており、福岡市の水源林としての重要な役割を持っている。 ・ 都市部の市民はその恩恵を受けており、福岡市のみんなが早良南部地域の環境を守ることのできるような取組につなげていけるとよい。
地域に対する印象や期待	・ 現在、国内の森林環境はその維持管理などにおいて様々な課題を有しており、福岡市や早良南部地域においても例外ではない。 ・ そのような中で福岡市は都心部と森とが大変近い距離にあり、新しい森林と市民とのかかわりを作っていく上で様々な可能性を持っていると感じている。
事業者のニーズ等	・ 現在 NPO で取組む森林保全の活動があるため、その連携や PR の機会を検討できる場があるとよい。
取組への参画可能性	・ 水源林ボランティアの方と連携した環境学習の取組や環境保全活動を継続的に取組んでおり、それらの活動との連携が期待できる。

事業者I

団体の概要：早良南部地域で新たにギャラリーを営む店舗



表：ヒアリング結果概要

事業の内容に関する印象	・ 脇山は素晴らしい環境があり、今後地域と連携したイベントなど PR していく取組は可能性を感じる。
地域に対する印象や期待	・ 豊かな脇山の自然環境の中で店舗やギャラリーを営んでおり、福岡の中心部からもわざわざ来てもらえるちょうどよい距離感。 ・ 今後、地域と連携できるような取組も検討していきたい。
事業者のニーズ等	・ 様々な協力の中で現在の場所でギャラリーを営むことができしており、今後はこの素晴らしい環境を活かし、地域と連携した取組を検討できるとよい。
取組への参画可能性	・ 登山者やサイクリストなども立ち寄ってくれており、喫茶スペースもあるので連携することができる。 ・ アートのワークショップやイベントを行っているため、脇山の環境を活かしたアートなどが今後検討できると良い。

事業内容③ 周知啓発の取組

早良南部地域の魅力や本事業の取組内容を周知する場として、区の広報誌や事業において制作したサイクリングマップ等での掲載を実施した。その状況は以下の通りである。

■区広報誌を活用したP R活動

事業内容①試行プログラムの運用による取組・体制作りでの、「アウトドア・健康をテーマとしたプログラム」の広報・募集を行う媒体として、区広報誌の「さわらの秋」を活用しており、各試行プログラムの掲載紙面に、本事業での取組であることを記載している。（1万7000部発行）



さわらの秋（「さわらの自然を楽しもう！」）への掲載記事

11/7 土

11/8 日

ソロキャンプを楽しもう in 脇山野営場

スノーピークのスタッフや日本ボーイスカウト福岡県連盟の方と一緒に、みんなでソロキャンプについて、その魅力を語らいながら楽しめます。当日はキャンプ道具の使い方などのワークショップも予定しています。（ワークショップのプログラムは新型コロナウイルス感染拡大防止の点から変更中止することがあります。）

■会 場：日本ボーイスカウト福岡県連盟脇山野営場（脇山 1780-2）
 ■時 間：14 時開会～翌日 10 時閉会（11 月 7 日（土）～8 日（日））
 ■募集人数：最大 15 人（ソロキャンプのみの募集となります。）
 ■参 加 費：2,500 円（サイト代、運営費、保険など）
 ■申込方法：以下の項目をメールで送るか、お電話で直接お申込ください。
 ※申込期間：10 月 16 日（金）まで先着順となります。
 定員になり次第締め切りとさせていただきます。
 【メール】 sawarananbu@step-i.co.jp
 【電 話】 092-271-3673（環境文化プロジェクト機構）

●氏名（漢字・フリガナ） ●住所 ●電話番号 ●性別 ●生年月日
 ●緊急連絡先番号 ●キャンプ歴（○年及び年平均○回程度でお答えください。）

※上記のイベントは、福岡市早良区と（特活）環境文化プロジェクト機構による福岡市共働事業提案制度「早良南部地域における交流人口の拡大による地域活性化事業」を通じて実施しています。



※キャンプ道具および食材はすべて参加者にご準備いただく必要があります。
 ※会場で提供できるものはキャンプサイト、水汲み場、トイレ、シャワーとなります。（駐車場はありますが、キャンプサイトには駐車できません。）
 ※薪は現地で購入いただけます。

①

10/25 日

矢筈谷（やはずだに）～
脊振山～椎原峠コース
（約6時間のコース）

②

11/1 日

花乱の滝～滝川谷～
金山～坊主ヶ滝ルート
（約5時間のコース）

あなたも山歩きで健康と感動を味わいませんか？

ネイチャースクール

紅葉が色づき始めた脊振山系をインストラクターが案内します。金山や脊振山の秋色の稜線に広がるブナ林など、美しい眺望が広がる行程で、自然の中で健康と感動を体験できます。

- 集 合：早良営業所バス停前（登山口までタクシー分乗で移動）
- 集合時間：7 時 45 分
- 募集人数：各回 15 人程度
- 参 加 費：500 円（傷害保険料など）
- 申込方法：ラリーグラス大名店（中央区大名 2-2-46）へ来店にてお申込みください。
- お問合せ：ラリーグラス大名店 ☎092-712-8909

※上記のイベントは、福岡市早良区と（特活）環境文化プロジェクト機構による福岡市共働事業提案制度「早良南部地域における交流人口の拡大による地域活性化事業」を通じて実施しています。



■サイクリングマップの作成

(表—表紙・裏表紙)

GIANT STORE FUKUOKA 監修

さわらサイクルマップ



福岡市早良区

▲山折りすると携帯しやすいサイズになるよ！



さわらサイクルマップ

早良区は、南北に長く、
山、川、海と豊かな自然に恵まれた
多様な魅力にあふれています。
その魅力を自転車で楽しく気軽に巡るコースや
体力に自信のある方向けの登坂コース、
またオススメの魅力スポットも併せてご紹介します。



自転車安全利用5則

1. 自転車は車道が原則、歩道は例外



【例外】

- 普通自転車はこの標識がある歩道では通行することが可能。
- 70歳以上・13歳未満は標識の有無関係なく歩道通行可能。



2. 車道は左側通行



3. 歩道は歩行者優先、車道寄りを徐行



4. 安全ルールを守る

- ・飲酒運転禁止
- ・2人乗り禁止
- *ライト点灯
- ・信号、一時停止厳守・安全確認・並進禁止
- *夜は勿論、昼間点灯は事故防止に効果的！



5. ヘルメット着用

自転車では唯一体を守ってくれます。正しく着用しましょう。

- 前髪はヘルメットから出さない。
- アゴ紐・バックルはしっかり締める。(アゴ紐に指2本分入る程度の隙間が◎)



入ってますか？ 自転車保険

福岡県では条例により義務化されました。安心安全のため必ず加入しましょう。

GIANT STORE FUKUOKA



◀井上店長セレクト▶

早良区南部の河川敷や車道、峠を走るなら、「シクロクロスバイク」や最近流行の「グラベルロードバイク」がおすすめです。

井上店長の愛車
TCXカスタム



ドリンクホルダーを付けると長距離走行も快適に。



サイクルコンピューターやスマートフォンホルダーでサイクリングをより楽しく。

お問い合わせ

早良区企画課

TEL:092-833-4412

早良区彩食健美の五手箱



早良区とNPO(環境文化プロジェクト機構)が取り組む福岡市共創提案事業制度により作成しました。

のんびり散走コース

このコースはアップダウンも少なく、西新・百道から早良南部地域を周遊することができます。
室見川沿いをのんびり南下しながら、日ごろの健康づくりにもオススメです。

距離：約30.2km
所要時間：約3時間



登坂ルート／三瀬コース



タイムトライアルに挑戦！

本格的なスポーツSNSアプリ「Strava」でも人気のスポット。
体力に自信があれば是非トライしてみてください。

車両に注意！

三瀬ループ橋

START

このコースは、早良区から佐賀県の三瀬へ抜けることができます。まずは野河内溪谷まで。自信がついてきたら三瀬峠へとステップアップを目指す方にもお勧めです。

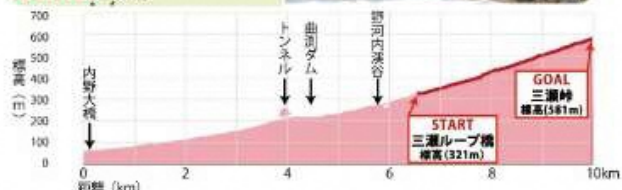
距離：3.24km
標高差：260m
勾配：7.1%
最高記録：11分14秒(2021/3現在)

START



GOAL

三瀬峠



登坂ルート／板屋コース

このコースは、早良区から那珂川市や脊振山山頂へつながる経験者向けの山岳コースです。脊振山の美しい森や川のせせらぎを感じながら走れます。

START

路面注意！



距離：4.86km
標高差：385m
勾配：7.2%
最高記録：17分55秒(2021/3現在)



カーブ

GOAL

板屋峠





■シンポジウム（脊振サミット）での登壇・話題提供

（コロナウイルス拡大防止のためシンポジウムが中止）

脊振の自然を愛する会が主催する「第3回脊振サミット」（令和2年6月21日）において登壇、事業の説明を行う予定であったが、コロナウイルス拡大防止のため、シンポジウム自体が中止となった。

（右：チラシは2019年度開催分）



■ワークショップ ボーイスカウトオンライン会議での話題提供

ボーイスカウトが主催する「福岡県連盟ベンチャースカウトフォーラム」において、NPOの活動や早良南部地域の取組を紹介するとともに、今後の地域活性化や脇山野営場の在り方についての意見交換を行った。

日時：9月26日（土） 17:00~18:30

場所：Zoomによるオンラインミーティング

参加人数：28名

（ボーイスカウト福岡県連盟におけるベンチャースカウト及び事務局含む）

話題提供の内容

＜テーマ：地域のNPOの活動について＞

- ①NPO 環境文化プロジェクト機構の活動について
- ②地域とNPOの関係について
- ③早良南部地域の活性化事業について

主な意見

- ・地域の細かいニーズに対応するNPOとしての活動に可能性を感じた。
- ・まちづくりにはハードとソフトの両輪が重要なことが理解できた。
- ・脇山野営場を活かした新しい活性化の取組について期待している。
- ・地域の課題解決に向けた共働きの必要性や面白さを感じた。



話題提供スライド

（一部抜粋）

■ワークショップ 脇山野営場の活用についての意見交換

脇山野営場を試行的にキャンプ利用した市民の方と、脇山野営場の管理者であるボーイスカウト関係者、またアウトドア事業者により、今後の早良南部地域の拠点づくりに向けた脇山野営場の活用についての意見交換を行った。

日時：11月9日（日） 10：00～11：00

場所：脇山野営場

参加人数：17名

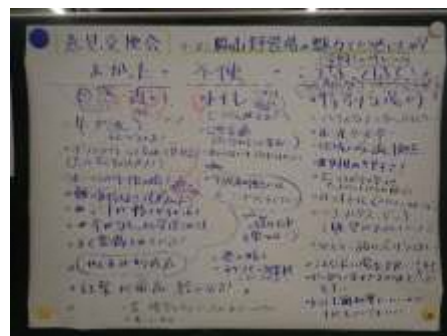
（市民：9名、ボーイスカウト福岡県連盟関係者：6名、
アウトドア事業者：2名）

意見交換の内容

＜テーマ：脇山野営場の活用について＞



意見交換の様子



意見交換会で出た意見

主な意見

【市民の意見】

- ・テントが張りやすく、整備されているのが良い
- ・一般の方に向けてはトイレのにおいや使いづらさを感じた
- ・公共交通がうまく連携できるとよい
- ・マナーを守っての利用を促すためのルールが必要である
- ・地域との交流拠点になると素晴らしい
- ・バイオトイレやツリーハウス、デッキなどがあるとよい
- ・場所が分かりづらいのが隠れ家的で良い
- ・一般の方に利用してもらうのであれば、今後案内看板などが必要

【アウトドア事業者の意見】

- ・自然豊かで都会から近く、井戸が珍しい点が良い
- ・一般の方に向けてはトイレのにおいや使いづらさを感じた
- ・ルールづくりと合わせて特別なキャンプ場にするのも効果的だと感じた

【公益財団法人の意見】

- ・会員制での利用なども含め検討を行うことができる
- ・トイレ整備について、施設管理者として今後検討することができる

事業内容④ ガイドラインづくり

本事業のとりまとめとして、報告書に加えて、試行プログラムの成果を基に、早良南部の地域資源を活用した交流人口の拡大に向けた取組の事例集を作成した。（別添1参照）



事業内容⑤ 空き家活用に向けた地域との意見交換

早良南部地域において課題となっている空き家について、今後空き家バンク等への誘導を行うための地域や福岡市都市計画部局等との意見交換を行い、今後の方向を検討した。

事前協議の概要

協議日程

市との協議	令和3年1月26日	福岡市役所(住宅都市局地域まちづくり推進部地域計画課)2名、実行委員会4名
自治会長との協議	令和3年3月10日	曲淵地区自治会長、実行委員会4名

福岡市住宅都市局からの情報

- ・〈賃貸の場合〉曲淵地区の1軒は賃貸するための申請が済んでおり、今後必要な手続きは戸数の追加申請のみでよい。
- ・〈賃貸の場合〉戸数追加申請をする場合は、まずは諸元の確認（建築確認申請がされているか、されていなければ立面図・平面図・位置図などを準備）と、その後住居として使えるかの確認をし、使えるならば賃貸化の申請ができる。
- ・〈売却の場合〉昭和45年の線引き前に建築されたものは可能。
- ・曲淵地域がネックなのは、50戸連たんでないことや土砂災害のイエロー・レッドゾーンであること、標高80m以上で上水道がないことなど。

自治会からの情報

- ・〈H30年の調査後に空き家が解消される件〉申請済みであった1軒には入居があり、空き家3軒は持ち主や親せきが帰ってきた・帰る予定となった。さらに1軒は東京からの移住を考える人と交渉中とのこと。
- ・〈H30年の調査後に空き家となる件〉4軒の空き家が増えた。ダム下の集落も人が減っており、3軒が空き家になった。1軒の持ち主は近所に住んでいるのでよく話す。
- ・神棚や仏壇があることへの懸念が最も多く、田んぼ・畑・納屋があることの懸念もある。
- ・所有者の中には、遠方に住んでいる方や、話をとりあってくれない方もいる。
- ・2件は話を進めることができそうなので、令和3年の夏ごろにまた情報共有したい。

今後の方針

今年度の協議の結果を踏まえ、令和3年度も継続して情報共有を行う。



自治会長へのヒアリング

4. 事業の達成状況

本事業における成果指標に対する目標と実績を以下に示す。

成果指標	達成状況					
	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①ワークショップへの参加者数	120	60	120	142	120	45
②アンケートを実施した事業者数	30	18	40	18	50	9
③ヒアリングを実施した事業者数 (同社への複数回のヒアリングを含めた場合)	5	15 (20)	10	18 (30)	15	9 (16)
試行プログラムの実施数 ※	0	0	2	6	6	4
⑤地域イベントや事業者と連携し、取組を周知した回数	0	0	3	7	5	5
⑥新たに連携した事業者数	0	0	4	4	8	4

※：平成30年度計画時点では、成果指標「試行プログラムの実施数（空き家）」「試行プログラムの実施数（空地・未活用農地）」としていたが、地域や事業者のニーズを踏まえ、自然や食など地域の資源を活用した、交流人口の拡大に向けた試行プログラムを実施した。

①ワークショップへの参加回数

コロナウイルス感染拡大防止の観点からワークショップの開催が難しい局面が多かったものの、オンラインによる意見交換会や、イベントと合わせた意見交換の実施などにより対応を進めた。また、事業終了後の対話の機会や取組の周知に向け、事業の概要版（別添参照）を作成し、今後の継続的な取組に向けたツールの作成を行うこととした。

②アンケートを実施した事業者数、③ヒアリングを実施した事業者数

アンケートについては、令和元年度の事業において、地域として幅広いニーズを捉えていく以上に、より具体的な交流プログラムづくりを組み立てることが期待されたため、今年度についてもヒアリングを重視し取組むこととした。

④試行プログラムの実施数

プログラムの実施数としては、大型商業施設と予定していたワークショップが中止となったため、目標に届くことができなかった。一方で、自転車を活かした取組において、イベントではなく、より日常的なサイクルツーリズムの推進を目指した、サイクルコースづくりやマップ制作を自転車メーカーと行うことで、地域と市民との交流に向けたツール作成を行うことができた。

⑤地域イベントや事業者と連携し、取組を周知した回数

本事業はその取組の周知を連携事業者とともに実施しており、今年度としてはアウトドアメーカー、登山ショップ、自転車メーカー、公益財団法人等との連携に加え、パンフレット等を活かした周知を行うことができた。

⑥新たに連携した事業者数

本事業において、今年度、交流のプログラムの造成を図ることのできた取組については、コロナの影響等により令和元年度からの継続するもののみとなった。一方で、そのような新しい生活様式としての新規のイベント企画が求められ、本連携事業を「新たな連携」として捉えた。

5. 今後の展開

本共働事業では、早良南部の活性化を目指した試行・検証や対話を継続しながら、地域の新しい受け入れ体制づくり構築の実現を目指している。ここでは、地域やNPOが校区住民と都市住民、事業者のニーズをマッチングする活動へと展開し、最終的には持続可能なものとするための協議会を立ち上げることを目指している。

共働事業終了後は、検討・試行された、地域住民や新しい団体・企業等が連携する取組を、地域が主体となつて実施できるようNPOが活動支援を行うことを予定している。

将来的には、新規事業の拡大による交流の促進により、移住・定住等に対する地域内外のニーズをマッチングさせる中間支援組織としての体制を目指していきたい。

●構成メンバーと役割

- ・地域代表者：農家代表、飲食店経営者代表、校区まちづくり協議会、農協青年部、早良商工会、早良みなみマルシェ実行委員会、早良みなみ塾等。事業者が主催するプログラムに対して地域資源を活かした市民サービスを提供していく。
- ・事業者：農・食関連、アウトドア・自然関連の事業者等、共働事業で連携した事業者を中心に、拡大を図っていく。各事業者の有する顧客や自社の従業員等が参加するプログラムの実施主体となる。
- ・早良区：令和2年度までは実行委員会として参加し、令和3年度以降はオブザーバーとして参加。プログラムを実施する上で、行政の関連事業との連携を支援する（市街化調整区域の新制度等）。
- ・NPO：令和2年度までは実行委員会として参加し、令和3年度以降はNPO単独で参加。協議会の運営や部会運営における地域代表と事業者間の調整を行う。

